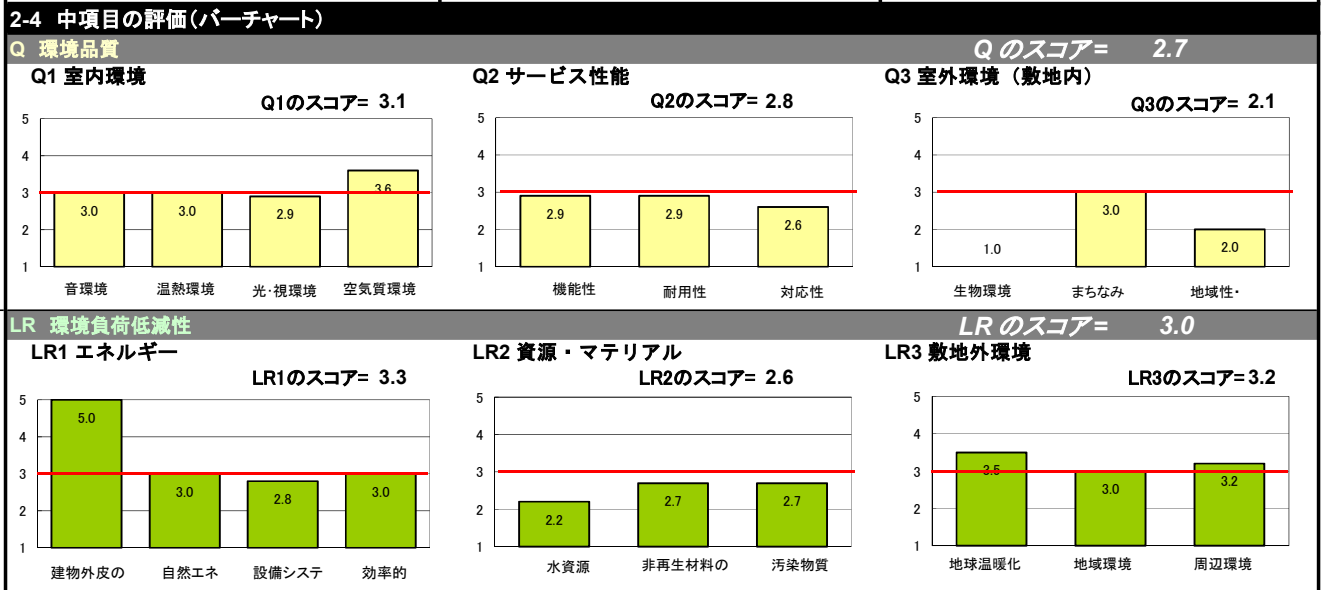
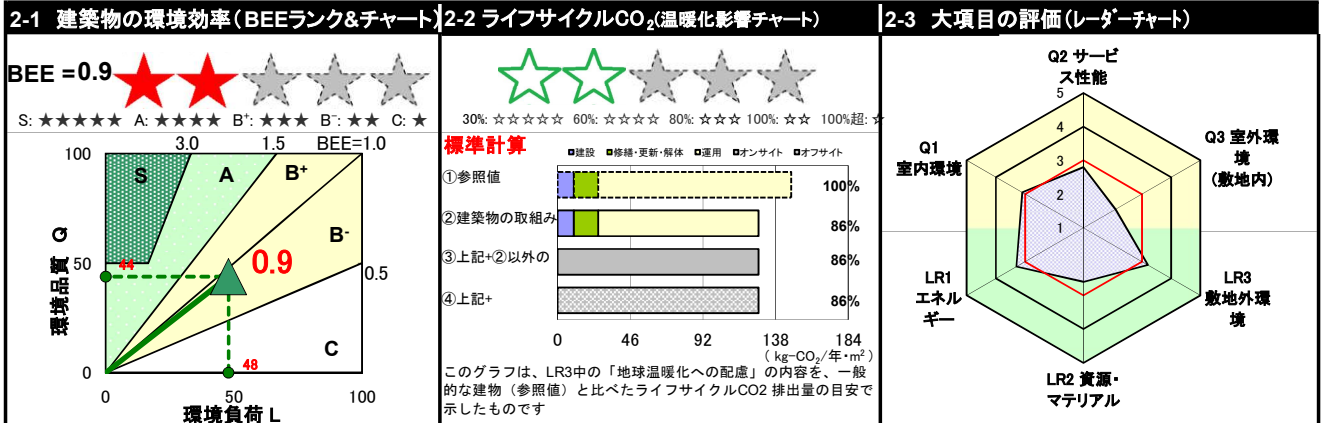
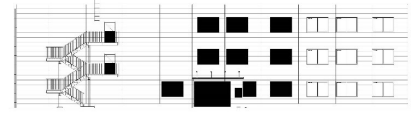


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)春日部市南2丁目介護施設	階数	地上3F
建設地	埼玉県春日部市	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、指定	平均居住人員	115 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020年2月5日
敷地面積	1,419 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	725 m <sup>2</sup>	確認日	2020年2月5日
延床面積	2,139 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>内装材はF☆☆☆☆を使用することで配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>壁長さ比率は、0.1以上0.3未満にて計画した。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>0</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>屋根に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>躯体と仕上が容易に分別可能となっている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>広告物照明は行っていない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
 (仮称)春日部市南2丁目介護施設新築工事(仮称エクシア春日部第二)

 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			0.40		-		<b>3.1</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>		
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40				
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40				
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20				
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>		
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50				
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43				
3 ソーン別制御性		3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00		<b>2.9</b>		
3.1 昼光利用		<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30				
1 昼光率	個室昼光率:1.25%以上	1.0	0.60	5.0	0.60				
2 方位別開口			-	3.0	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40				
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30				
1 昼光制御		3.0	1.00	<b>3.0</b>	1.00				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25				
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.6</b>		
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63				
1 化学汚染物質	建築材料は、告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.6</b>	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能	開放可能窓面積率1/10以上	3.0	-	5.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20		-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-		-				
2 喫煙の制御		3.0	1.00		-				
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-		<b>2.8</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>2.9</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60				
1 広さ・収納性	居室床面積:10㎡以上	3.0	-	5.0	1.00				
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40				
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		3.0	-		-				
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30		-		<b>2.9</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		<b>2.8</b>	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-				








<b>3 対応性・更新性</b>		<b>2.7</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>2.2</b>	0.30	<b>2.2</b>	0.50	
1 階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率：共用部0.1以上0.3未満、宿泊部0.1以上0.3未満	4.0	0.40	4.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.30	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	BPI <sub>m</sub> =0.71	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.83	<b>2.8</b>	0.50	-	-	<b>2.8</b>
<b>4 効率的運用</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>2.7</b>	0.60	-	-	<b>2.7</b>
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用している。	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>2.7</b>	0.20	-	-	<b>2.7</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		<b>2.6</b>	0.70	-	-	
1 消火剤		2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	LCCO <sub>2</sub> 排出量=86%	<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>		<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明目的に合った照度を設定し、広告物照明を行っていない。	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要					
建物名称	(仮称)春日部市南2丁目介護施設新築工事(仮称エクラシア春日部第二)	BEE	0.9	BEEランク	★★

2 重点項目の評価					
ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.5	+	2.0	=	5.5	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    		

3 重点項目についての環境配慮概要			
<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.5
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
LCCO2排出量=86%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。			

 : 入力欄